

2月15日 菊池女子高校
平和のバトンを次の世代へ

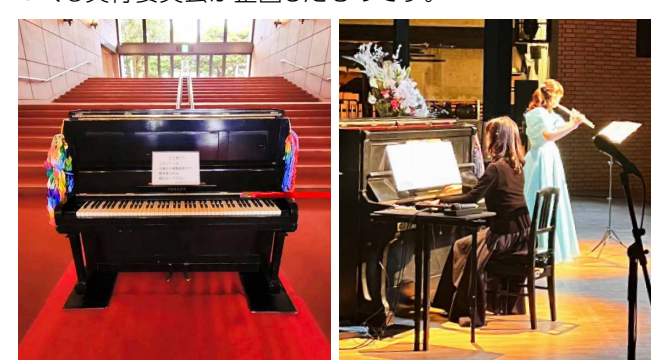
広島に投下された原子爆弾で被爆した山瀬潤子さんの講話が菊池女子高校で行われ、生徒と教職員約100人が話を聞きました。体験者の声を聞いて、戦争の悲惨さや恐ろしさを知ってほしいと同校が企画したものです。



生徒会長の下田由奈さん(2年)は「悲惨な戦争を繰り返さないように体験者の思いを次の世代へつないでいきたいです」と話しました

2月19日 被爆ピアノコンサート
「被爆ピアノ」が奏でる平和への願い

広島で原爆に遭った「被爆ピアノ」によるコンサートが市文化会館で開かれました。ロシアのウクライナ侵攻で戦争への関心が進む中、平和について考えてほしいと、市有志でつくる実行委員会が企画したものです。



県内を拠点に活動するピアノやフルート演奏者、歌手が歌や演奏を披露。被爆ピアノの優しい音色が会場に響きました

2月21日 学校法人神戸学園グループ
バナナで台湾と日本をつなぐ

学校法人神戸学園グループ(蔭恵洋総長)が、市内の児童生徒などに台湾産バナナ約4,400本を寄贈しました。台湾と日本の友好関係の発展を目的に企画されたものです。児童は「これを機会に台湾について勉強してみたい」と話しました。



2月6日には、台湾の屏東産バナナの出荷を記念する記者会見に限府小学校の児童がWEBで参加。台湾語で交流をしました

2月14日 県社会福祉功労者及び団体等知事表彰
市内の4人と1組が受賞

令和4年度県社会福祉功労者及び団体等知事表彰に市から4人と1組が受賞し、市役所で伝達式を行いました。これは社会福祉の向上に特に著しい功績があり、他の模範となる人や団体に対して贈られるものです。



【受賞者】前列④から右田美喜江さん、田代真由美さん、井上悦子さん、後列⑤手話サークル山びこ会の益寄洋子さん
【団体表彰】手話サークル山びこ会(後列④から梅田富子さん、城ひろ子さん、岡本ハツヨさん)

2月16日 県建設業協会菊池支部
児童が建設機械を試乗

建設業の魅力を発信するため、県建設業協会菊池支部(前川浩志支部長)が、花房小学校で校庭の補修作業ボランティアと建設機械の試乗体験会を実施し、5・6年生21人が参加。児童が重機に試乗すると歓声が上がっていました。



前川支部長は「ボランティア作業の見学や建設重機の試乗体験を通して、建設業に興味を持ってくれたらうれしい」と話しました

2月20日 短歌・俳句に親しむ
第17回「万句のふるさと菊池」表彰式

「万句のふるさと菊池」の表彰式が七城公民館で実施されました。第21代菊池重朝公が行ったとされる「菊池万句」にちなみ、市教育委員会が毎年開催しています。入選者のうち最優秀賞の児童生徒に表彰状と記念品が贈られました。



県内や姉妹・友好都市の小中学生から、俳句7,584句、短歌2,694首、計10,278の作品が寄せられました

1月29日 九州産業大学
菊池の特産品をライブ販売

九州産業大学の学生がインターネット上で動画を配信しながら商品を販売する「ライブコマース」という手法で、市の特産品をPRしました。長崎県を中心に活動する中村聡美さんのチャンネルに参加し、視聴者に商品を売り込みました。



ライブコマースで菊池物産館の商品を売り込む中村さん④と学生たち

1月27日 県家庭教育支援功労者表彰
鳥井真智子さん(遊蛇口)が受賞

県家庭教育支援功労者として鳥井真智子さんが受賞。鳥井さんは、くまもと「親の学び」プログラムトレーナーとして、親の学びプログラム進行役養成講座の企画・運営や地域の家庭教育の充実・発展など多岐にわたり、尽力しています。



鳥井さん④は「『親の学びプログラム』を通して、たくさんの人たちのつながりを広げていきたいです」と話しました

2月12日 第49回都市対抗熊日駅伝
かけ抜けた103.3km

第49回都市対抗熊日駅伝が天草市～熊本市の14区間で開催。19都市がタスキをつなぐ中、菊池都市は準優勝を果たしました。市からは渡邊颯斗選手(菊池北中2年)と迫紘太選手(菊池南中出身)が出場。チームの躍進に貢献しました。



1月29日に行われた「第40回熊日都市対抗女子駅伝」では6位入賞し、男女ともに菊池都市勢の活躍が光りました

11月10日 九州ティ・エス(株)
芝刈り機を寄贈

地域貢献の一環として、赤星に本社工場を構える九州ティ・エス(株)(佐藤に俊代表取締役社長)が、行政サービスに役立ててほしいと市に芝刈り機を寄贈。芝刈り機は、七城運動公園のサッカー場内に設置し、大切に活用していきます。



佐藤代表取締役社長(中央④)は「施設の維持管理に活用してほしい」と話しました

1日31日 倉敷紡績(株)熊本事業所
市内の保育所にタオルハンカチを寄贈

森北工業団地内に工場を構える倉敷紡績(株)熊本事業所が、自社技術を用いた抗菌・抗ウイルス加工タオルハンカチを市へ寄贈。地域貢献・地域活性化の一環として、市内保育所を代表し、あすなる保育園に贈呈しました。



あすなる保育園の柱松香澄主任は「使いやすい大きさで、年少から年長まで使えるので大変ありがたいです」と話しました

2月8日 日本ダムアワード2022
竜門ダムフェスタが受賞

昨年9月に開かれた「竜門ダムフェスタ」が評価され、竜門ダムが「日本ダムアワード2022」でイベント賞を受賞しました。ダムフェスタはダム運用20周年の節目に合わせ、初めて夜間に開催。多くの人でにぎわいました。



企画運営した竜門倶楽部の坂本大司座長(中央④)は「ダムに多くの人を訪れ、明るい場所になるようにしていきたい」と話しました